

情報セキュリティ基本方針

株式会社テラソフトは、大規模な社会インフラ分野におけるシステム開発事業を展開し、お客様にとって価値の高いシステム構築やサービスを提供することで、より良い社会の構築に寄与することを目指しています。そのためには、お客様をはじめ関係者の皆様から受領又はお預かりした情報資産及び当社の事業基盤を支える情報資産について、その重要性を認識し、全ての関係者の不利益につながる不正行為、犯罪、過失、災害等の様々な脅威に対する情報セキュリティを確立し、運用することが最重要課題となります。

当社は、情報セキュリティを当社の社会的責任と位置付け、関係者の皆様の信頼と信用の下で円滑に事業を運営するため、以下に掲げる情報セキュリティ基本方針と、情報セキュリティ個別方針を定め順守致します。

- 1) 当社が取り扱う重要な情報資産を保護するために、情報セキュリティマネジメントシステム（以下「ISMS」とする）を構築し、運用する体制を整備します。
- 2) 情報セキュリティ基本方針に沿った情報セキュリティを実現するために、年次で情報セキュリティ目的を策定し、その目的を達成するための諸活動を実施します。
- 3) ISMS の合理的且つ効率的な運営を行うために、CISO を長とする情報セキュリティ委員会と、それを補佐するためのISMS事務局を設けます。
- 4) 当社の事業に関連する情報セキュリティ課題を認識し、解決すべき課題に対する対応を決定します。
- 5) 当社の利害関係者の情報セキュリティに関する期待とニーズを把握し、情報セキュリティ対策に反映します。
- 6) 当社は、国際規格 (ISO27001) に適合したリスクアセスメントを実施し、最適な情報セキュリティ対策を導入します。
- 7) リスクアセスメントによってリスクが受容水準を超えたリスクについて、リスクを受容水準以下にするための情報セキュリティ対策を講じ、必要な経営資源を投入します。
- 8) 当社事業の情報セキュリティに関連する契約や法令等を識別し、その要求事項を順守します。
- 9) セキュリティ要求事項を周知徹底するために、ISMS 適用範囲に従事する従業員に対し、ISMS に関する教育を実施します。また、ISMS の運用や、技術的情報セキュリティ対策に関わる従業員に、必要な力量を持たせるための教育・訓練を実施します。
- 10) ISMS の運用状況を監視し、パフォーマンスの評価と ISMS の有効性評価によって、ISMS の維持及び継続的改善を行います。
- 11) 全従業員は、情報セキュリティ関連規程を順守しなければならず、違反した場合には、当社の就業規則によって懲罰を決定します。

2022年3月1日
株式会社テラソフト
代表取締役社長
仁平 久